



口腔内の異常から見えてくる病気



こあら新聞

第46号

担当 長澤 優香

★はじめて

皆さんは、日常生活の中でお口の状態が普段とは違うと感じたことはありませんか。痛みがなければついそのままという方もいらっしゃるかもしれませんが、気になっている方も多いのではないのでしょうか。その口腔内の異常は、もしかしたら全身の病気と関係して起こっているかもしれません。状態を把握することで、他の疾患の早期発見の手がかりになる可能性があります。口腔内に出る症状は様々ですが、今回は口腔内に出現するいくつかの症状を元に、疑われる疾患をご紹介しますと思います。

★口腔内の異常に関連する病気

《水疱》

粘膜等が盛り上がり粘液を含んだ半透明状のものを水疱といいます。破れると潰瘍などに変化する場合があります。大きさによって疑われる疾患が異なります。小水疱はウイルス性疾患が多く、口唇ヘルペスやヘルパンギーナ、带状疱疹などが挙げられます。



・手足口病
ウイルス性の感染で1〜3歳に流行することが多い病気です。高熱が出るだけでなく、口腔粘膜や手足にも発疹が出ます。

・尋常性天疱瘡
皮膚や粘膜の組織を接着するタンパクが異常を起こすために水疱が誘発されます。水疱は、破れてびらんに変化しては治るといった状態を繰り返し、なかなか治らな、難病です。

《発赤、びらん、潰瘍、紅斑》

びらんと潰瘍は組織を侵襲している深さによって分けられ、深い方を潰瘍といいます。また、円状にくぼみ、中が白く周りが赤いものをアフタと呼びます。ヒリヒリするような痛みが特徴です。それ以外の赤い発疹をまとめて紅斑と括ります。口内炎が代表的ですが、歯周疾患の中でも壊死性歯周疾患は最悪死に至ることもある症状です。他の疾患のサインとして見られる場合もあるため、早期に再発を繰り返す場合は注意が必要です。

・ペーチェット病

粘膜や皮膚、眼、臓器など全身に炎症が起こる病気です。口腔内には頬粘膜や口唇、歯肉、舌、軟口蓋に口内炎が繰り返して起こります。

・エリテマトーデス
免疫の異常により、全身へ様々な症状を引き起こします。特に、全身性エリテマトーデスは、お顔に蝶の様な紅斑が特徴の難病です。口腔内では、口腔粘膜に小さな紅斑、潰瘍ができます。

《白色病変》

粘膜等の組織に白斑や模様が出来た状態です。カンジダという真菌の感染だけでなく、アレルギー反応や癌化する初期の病変も疑われるため、急激に変化を起こさないか経過観察が必要です。

・口腔扁平苔癬

口腔粘膜に白色の網の様な模様ができます。原因の特定は困難ですが、細菌感染や金属アレルギー等が考えられ、なかなか治りません。癌へ変化する初期の状態とも疑われるので、長期観察が必要です。

・麻疹

急性のウイルス性疾患で、咳やくしゃみ、発熱を起こします。皮膚と口腔内の両方の頬の粘膜に紅斑と白色の斑点(コプリック斑)がみられます。

《加齢、出血、紫斑》

口腔粘膜は状態によって鮮やかな赤色、紫色として見られます。自分の免疫



を司る機能がなんらかの理由で異常が起こり出血する状態と、出血を止める役割の血小板が減少し、止血がしにくいために内出血として紫斑がみられます。血液の異常に関する病気が疑われるので、よく出血する場合は血液検査も考えましょう。



・血友病

止血のために必要な遺伝子が欠如しているため、口腔内で出血した場合なかなか止まらない病気です。

《腫脹、腫瘍》

口腔内の腫れやこぶは、粘液が溜まったものや組織が盛り上がるなど大小様々ですが、中には悪性のもものもあるため、硬さも疾患の見極めに大切になってきます。例えば、高血圧の薬やてんかんの治療薬の副作用として歯肉がでこぼこ増殖するもの、エプーリスのように刺激や女性ホルモンの影響として瘤状に歯肉が変化するものもあります。また、口腔がんは盛り上がるだけでなく潰瘍がみられることもあります。

・白血病

癌化した造血細胞が骨髄やリンパをはじめ全身の組織を侵す病気で、口腔内では歯肉や口腔粘膜の腫脹、出血や潰瘍、歯の動揺といった症状がみられます。

《色素異常》

煙草や歯科材料が原因で色素沈着がみられる場合があります。また、いわゆるほくろとして口腔内に黒色の斑点ができる場合があります。ただし遺伝的な疾患によるものや、色素沈着より濃い黒色の色素班が、実は癌である場合があります。

・黒毛舌

舌表面はヒダのような状態になっていますが、そのヒダが長く硬くなり、黒褐色に着色します。主に、細菌増殖が起こって口臭や味覚障害の原因になります。原因としては糖尿病や腎疾患等の薬の副作用や、がんの治療による口腔内の細菌のバランスの変化とみられます。

《その他》

・鉄欠乏性貧血

血液中の鉄分が不足することによって起こる貧血で、爪がスプーン状になる特徴があり、口腔内では舌炎や口角炎、嚥下障害が起こる場合があります。



・悪性貧血

ビタミンB12、葉酸の不足によって起こる貧血で、粘膜の委縮により舌がとろりと平らになるのが特徴です。薬の副作用や胃の手術により栄養素の吸収障害がある場合に起こります。

・口腔乾燥症

糖尿病や腎障害などの全身的な病気が原因であるほか、服用している薬の副作用によって起こる場合があります。その他にも放射線治療や疾患によっては、唾液をつくる唾液腺そのものが異常を起こすこともあり、摂食障害や嚥下障害など重症化する場合もあります。また緊張からくる口腔乾燥もあるため、様々な疾患が考えられます。

・シェーグレン症候群

唾液腺などが障害を受け、口腔内や眼が乾燥する病気です。舌が乾燥ししわになり、ひび割れて溝が見られることもあります。

上記のように、口腔内の異常は見た目や形、出現する部位によってある程度大きく分類できます。ただし、これらの症状は、状態の変化を起こします。急激に変化するようであれば、重篤な疾患も疑われますから、早期の受診をお勧めします。

●おわりに

歯科で発見された異常は、場合によっては他の医科と連携する必要がでてきます。口腔内は自分で発見するには限界がありますから、むし歯だけでなく、全身の病気を防ぐためにも定期健診をお勧めします。



スタッフの広場

最近オリーブオイルにはまっていきます。色々なアレンジ料理に挑戦中♡

今年40回目の雪灯籠！雪灯籠がアップされた♪

仙台で食べた最高のお鍋☆